



2023年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社ダブルスタンダード  
代表者名 代表取締役 清水 康裕  
(コード:3925 プライム市場)  
問合せ先 執行役員管理部長 和田 光伸  
(TEL. 03-6384-5411)

## SBI ファイナンシャルサービシーズ株式会社との 資本業務提携深化に関するお知らせ

当社は、SBI ホールディングス株式会社（以下、「SBIHD」という。）の100%子会社で金融サービス事業の中間持株会社である SBI ファイナンシャルサービシーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高村正人 以下、「SBI ファイナンシャルサービシーズ」という。）と2019年12月26日付で資本業務提携契約書を締結しておりますが、この度、業務提携の内容を深化させることとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業務提携深化の目的およびその内容

当社は、独自のデータクレンジング基盤技術を活用した企業向けビッグデータの生成・提供を実施し、データ生成過程で培った技術を活用して様々な企業との取組の知見を活かすことで、企業と新たなサービスを創出する企画開発プロバイダーです。当社は、株式会社 SBI 証券を中心とした SBIHD 及びその関係会社（以下、「SBI グループ」という。）の業務システム開発・運用支援を通じ、様々なソリューションを提供しております。

一方、SBI グループは、創業以来「顧客中心主義」に基づくお客さま本位の商品・サービスの提供に注力しており、株式会社 SBI 証券では、国内初となる証券総合口座 1,000 万口座を達成し、更に本年9月30日から開始する国内株式の売買手数料無料化や来年1月からの新 NISA の開始を見据えた顧客基盤の拡充に努めております。

このような中で、SBI グループでは顧客基盤の拡大に伴う各種データ量の増加やそれらを有効活用するためのデータ整理等が課題となってきたことから、長年の信頼関係を築いてきた当社のデータクレンジング技術等の活用を強化するなどの以下の取り組みをさらに推進することで、SBI グループで生じる様々な課題解決を図るとともに、当社のさらなる成長実現も目指してまいります。

- (1) 当社のデータクレンジング技術を活用した、SBI グループ各社の顧客データ整理とマーケティング活動への活用推進

- (2) 当社の e-KYC で培った認証システムのノウハウを活用した、マイナンバーカードを用いた公的個人認証サービスの SBI グループ内外への導入促進
- (3) SBIHD 子会社を通じた、全国の地域金融機関に対する当社の DX サービスの紹介

## 2. 株式追加取得の内容

SBI ファイナンシャルサービシーズは、2019 年 12 月 26 日付 で当社との間で資本業務提携契約を締結し、2023 年 6 月 30 日現在、当社株式を 2,532,900 株（議決権所有比率（注）18.67%）保有しております。

今回、SBI ファイナンシャルサービシーズは、資本業務提携深化の一環として市場において 167,000 株を追加で取得することとなりました。なお、追加取得後の SBI グループの議決権所有比率は 19.90%となる予定です。

（注）議決権所有比率の算出に際しては、当社が 2023 年 8 月 14 日に公表した「第 12 期第 1 四半期報告書」に記載された 2023 年 6 月 30 日現在の発行済株式総数（13,580,000 株）から、2023 年 6 月 30 日現在の自己株式（900 株）と単元未満株式（10,700 株）を控除した株式数 13,568,400 株を単元株式数 100 株で除算した 135,684 を議決権個数として算出しております。

## 3. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響は現時点では未定ですが、開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上